

市長への手紙 市政への提言



「市長への手紙」とインターネットによる「市政への提言」は、市政に対するさまざまなご意見やご要望をお聴きする制度です。平成25年度は、1月末までに558件が秘書広報課に寄せられました。その内容は、すぐに対応できたもの、長期的に検討しなければならぬものなどがありました。市では、皆さんの声を率直に受け止め、今後の施策に役立てられるよう努めています。今年度、いただいたご意見・ご提案の一部を紹介します。

都市開発部

- 公民館などの公共施設をつなくような、市内循環バスを運行してほしい
- 小平駅北口の開発を早期に実施してほしい
- 交通渋滞だけでなく産業振興のためにも都市基盤整備を速やかに執行してほしい
- 都市計画道路整備計画を中止して玉川上水の自然を守ってほしい

都市建設部

- 小平駅前ロータリーは花が植えられ、清掃が行き届いて見違えるようにきれいになった。駅がきれいなことも住みやすいまちの要件だと思うようになった
- 自宅近くの街路灯は点灯していても非常に暗いのでLED電球に変更してほしい
- こどもの健全な育成には、キャッチボールやサッカーのパス練習でストレスを発散したり、友達との人間関係を築くことが不可欠なので、ボール遊びのできる公園が必要である

教育部

- 花小金井南公民館をサークル活動で利用しているが、机がかなり古く、傷んでおり不安定で危険な状態なので、新しい机に取り換えてほしい
- 小平市ではいくつかの近隣市と図書館の相互利用ができるようになり大変便利である。隣接地で生活圏ともなっている国分寺市とも相互利用の協定を結んでほしい

企画政策部

- 市職員作成の平櫛田中の伝記漫画を、まとめてホームページに掲載してほしい

環境部

- 燃えるごみを減らすためにも、プラマークのついている物は、菓子袋のような柔らかい物もすべて分別・再利用するようにできないか
- 朝夜ともに駅周辺で歩きたばこをする人が多く、受動喫煙の被害に遭っている。歩きたばこの禁止条例により、罰則・罰金を制定して取り締まってほしい
- 小川駅には東口にも西口にも喫煙場所がなくタバコが吸えない。歩きたばこや、吸い殻のポイ捨てをなくすためにも喫煙場所を設置してほしい

健康福祉部

- 福祉会館ロビーのテレビを昼休み以外にも使用させてほしい
- 乳幼児健診の開始時間を、午前中の早い時間や午後2時以降など、働く親に負担がかからない時間帯に設定してほしい

市民生活部

- 新しい住居表示になる場合、住民票や印鑑登録などに関する変更処理や、土地登記情報などへの反映は自動的にされるのだろうか
- ルネこだいら館内の証明書自動交付機コーナーを、休館日にも利用できるようにしてほしい
- ブルーベリーの放射能検査結果がはっきりと示されていないため、市のデータを公表してほしい
- 地震によるブロック塀倒壊の危険性や補助金の申請についての情報を市報に掲載してほしい

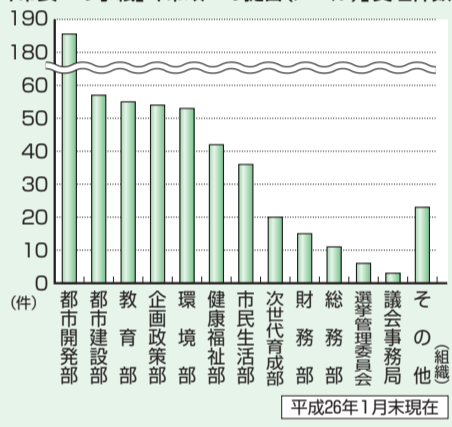
次世代育成部

- 小平市では、中学校卒業まで医療費の助成があるが、高校生まで医療費の無料化はできないか
- 学童保育時間が短いので、小平市に転入しない若い家族もいるようだ。働く女性のために、学童保育時間をすべてのクラブで午後6時30分までにしてほしい
- 保育園の運動会の練習で使用する音楽やマイクの音量は必要最小限に控えてほしい

その他

- 大沼町2丁目の東京街道では、スピードを出す自動車が多いので、小学生が利用する横断歩道に信号を設置してほしい
- 玉川上水八左衛門橋付近は生い茂った雑草により見通しが悪くなり、安全な通行ができなくなっているため除草してほしい

「市長への手紙」・「市政への提言(メール)」受案件数



市長への手紙専用はがき設置場所

市役所、健康福祉事務センター、健康センター、東部・西部出張所、公民館、図書館、地域センター、福祉会館に設置しています。備え付けの提案箱、または郵便ポストに入れてください。切手を貼る必要はありません。

いただいた手紙は、市長が目を通すとともに、各担当課で検討し、今後の市政の参考にさせていただきます。また、「市政への提言」を小平市ホームページで受け付けています。なお、封書およびファクシミリでも皆様のご意見・ご要望を受け付けています。

問合せ 秘書広報課 ☎042(346)9508、FAX042(346)9507



市民と市長の対話集会

平成25年度

タウンミーティングの報告

タウンミーティングは、平成17年5月に始まり、これまで49回開催し、延べ1千1百13人が参加しました。

今年度で開催したタウンミーティングでの皆さんの意見、提案の一部を紹介します。

市政全般

- 11月9日開催
 - ▽市の西地区は東地区に比べて配慮されていないように思っていたが、ここで児童館ができてうれしく思っている
 - ▽民生委員活動は大変だが、何をしているか知っている人が少なく、社会に認知されていない。もっとアピールする必要があると考え、啓発活動にも積極的に参加している
 - ▽民生委員のなり手が少なく、定員百37人のところ13人の欠員がある。以前は、40歳代・50歳代から民生委員になり長期的に活動したので、地域の方がよくわかり、地域の人からも民生委員として認知されていたが、最近では、60歳代から民生委員を始めるので、地域の人になじみ、経験を積む期間が不足するため、活動の継承が難しい
 - ▽孤独死が発生すると民生委員の活動が難しくなる
- 12月8日開催
 - ▽市のよいところは、緑の多いところで、悪いところは道路整備の遅れているところだと思つたので、インフラ整備を進めてほしい
 - ▽歩道に広いところと狭いところがあり通行しづらい。電柱なども歩行者の妨げになっているが、地下に埋設する計画はあるか
 - ▽産業まつりで、福島県、宮城県、岩手県の県人会が交流した。被災地に何ができるか考え、できることかやらせていこうと思つているが、情報が届かないため、被災地の人と県人会との間で温度差が生じてしまふ。1・2年でよいので、図書館で地方紙を定期購入してほしい
 - ▽ルネこだいらと総合体育館を結ぶなど、小平市を横断、縦断するにバスがあるといいと思つた
 - ▽小川町一丁目地番のままで、居所が分りにくいので、住居表示をしてほしい
 - ▽長期総合計画が中期実行プログラムに変更したが、市民参加が後退してしまつたのではないかと心配している
 - ▽自治会を作るためにどのようなことを考えているか。若い人たちの考え方は、これから自治会の加入率を引き上げることは難しいと思つたが、若い人も、防災については関心があるようなので、防災グループに組織し直せば参加したい人は多いと思つた

平成21年度以降のタウンミーティング

開催日	会場	テーマ
平成21年 7月25日(土)	東部市民センター	自由意見
9月12日(土)	西部市民センター	自由意見
平成22年 2月13日(土)	中央公民館	自由意見
11月13日(土)	学園西町地域センター	大学生の提案
12月4日(土)	中央公民館	定年後の生活
平成23年 2月5日(土)	中央公民館	イクメン(子育て)
10月22日(土)	上水新町地域センター	住みよい環境を目指す
12月17日(土)	中央公民館	小平市自治基本条例
平成24年 2月18日(土)	中央公民館	平成23・24年度の事業
6月30日(土)	小川西町公民館	地域の課題やこれからのこと
7月14日(土)	仲町公民館	
11月17日(土)	大沼地域センター	
平成25年 11月9日(土)	中央公民館	自由意見
12月8日(日)	小平元気村おがわ東	市民参加と協働・住民参加
平成26年 2月16日(日)	上水新町地域センター	自由意見

市政全般

- 2月16日開催
 - ▽市は、自治会を必要なものだと考えているのか
 - ▽都道3・4・23号線の進捗状況はどうなっているのか
 - ▽庭が荒れ果てている空き家が増え、治安が悪くなっているような印象を与えてしまつている。市が所有者に指導することはできないのか



11月9日のタウンミーティングの様子